

2020年10月27日

**貿易プラットフォーム「TradeWaltz®」の運営会社に業界横断7社で出資  
～ブロックチェーンを本格活用して貿易デジタル化とアジア連携強化へ～**

株式会社NTTデータ  
三菱商事株式会社  
豊田通商株式会社  
東京海上日動火災保険株式会社  
株式会社三菱UFJ銀行  
兼松株式会社  
損害保険ジャパン株式会社  
株式会社トレードワルツ

株式会社NTTデータ（以下、NTTデータ）、三菱商事株式会社（以下、三菱商事）、豊田通商株式会社（以下、豊田通商）、東京海上日動火災保険株式会社（以下、東京海上日動）、株式会社三菱UFJ銀行（以下、三菱UFJ銀行）、兼松株式会社（以下、兼松）および損害保険ジャパン株式会社（以下、損保ジャパン）の7社は、貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」を運営する株式会社トレードワルツ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小島 裕久、以下：トレードワルツ）への共同出資に合意しました。

あらゆるモノの流れに付随する貿易業務には、取引の過程で多数の手続きが発生し、手作業での書類作成や整合性の確認作業等には、多大なコストがかかっています。また、複数の関係者が取引に介在しており、より正確かつ安全に情報を受け渡す仕組み作りは、業界の垣根を越えた共通の課題となっています。

これらの課題を解決するべく、2017年8月にNTTデータを事務局とした業界横断のコンソーシアムを発足し、商社・銀行・保険・船会社等の関係者と共に、デジタル技術を活用した貿易業務における事務処理の効率化、安全性の向上等について、議論を重ねました。また、2020年の税制改正では電子帳簿保存法が見直されるなど、政府も企業が作成する書類の電子化を積極的に促進しています。

NTTデータは、コンソーシアム関係者間での検討結果等を踏まえ、ブロックチェーン技術を活用した貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz」の開発を進めてきました。「TradeWaltz」の実用化が実現すれば、貿易に関わる全ての業務を一元的に電子データで管理することができるようになり、貿易業務の作業量を最大50%程度、削減できる見込みです。

「TradeWaltz」の運営・開発・管理は、2020年4月に設立したトレードワルツが担います。今般、トレードワルツに共同出資することに合意した7社が密に連携し、「TradeWaltz」の実用化、商業化に取り組んでいきます。まずは、貿易業務の各種プロセスの中に、「TradeWaltz」を順次導入し、必要な機能の追加やシステムの強化を行います。将来的には、貿易文書の電子化を検討している国内外の政府機関やサービスプロバイダーと連携し、ASEANをはじめとした世界の貿易業務のデジタル化にも貢献したいと考えています。

長年課題となっていた非効率的な貿易業務を抜本的に解決するべく、私たちは今後も産業の枠組みを超えた協業を進めていきます。

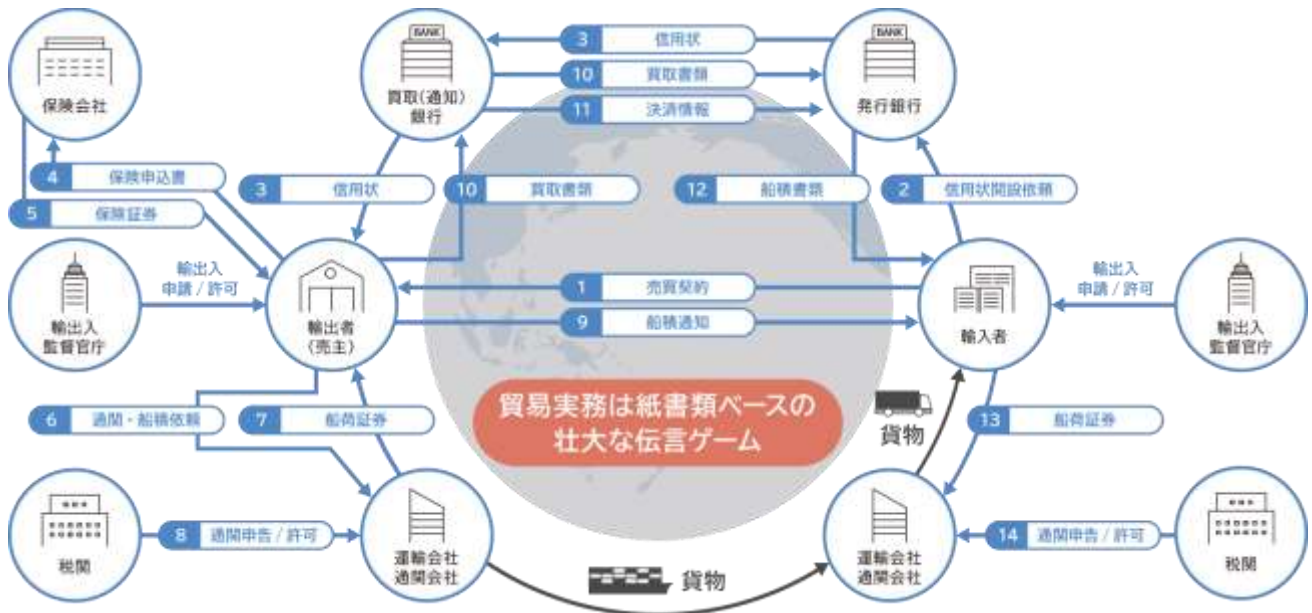


図1 TradeWaltz 導入前 従来は壮大な伝言ゲーム

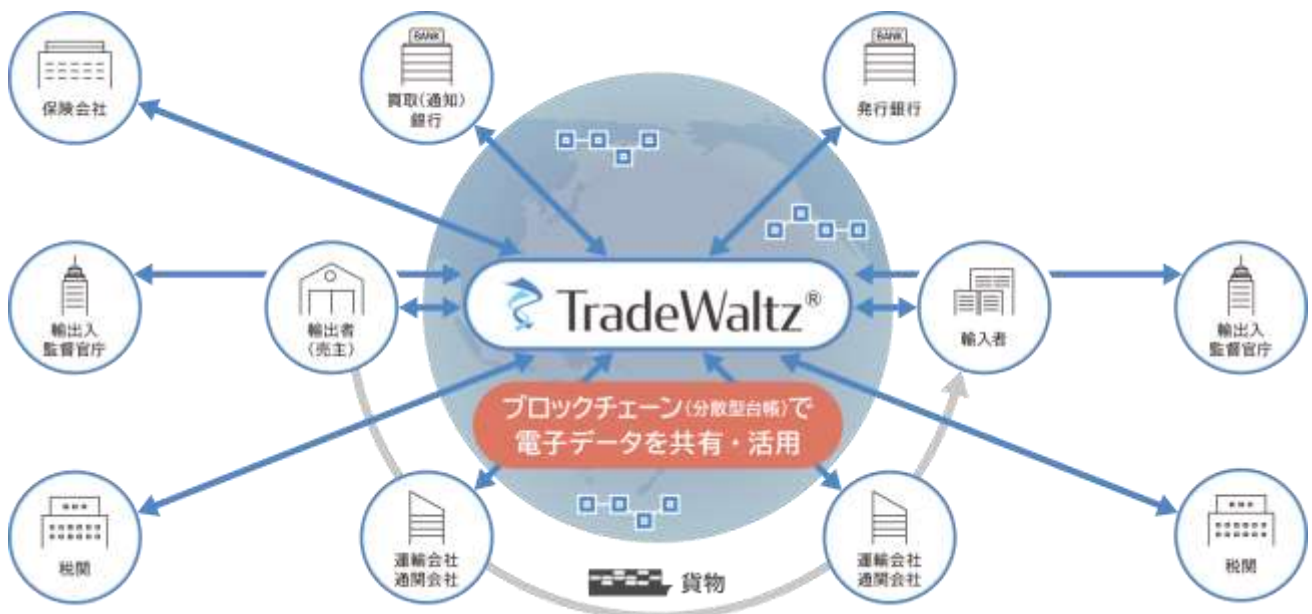


図2 TradeWaltz 導入後 業界横断で貿易業務を一元的に管理

【共同出資会社概要】

- 商号 : 株式会社トレードワルト
- 代表者 : 代表取締役社長 小島 裕久
- 所在地 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目2番地2号 丸の内二重橋ビルディング2階
- 設立 : 2020年(令和2年)4月
- 事業内容 : ブロックチェーンを活用した貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz」のSaaS<sup>(注)</sup>提供
- 資本金等 : 21億円 (資本準備金含む)
- URL : <https://www.tradewaltz.com>

【関係者のコメント】

**NTTデータ 取締役常務執行役員 松永 恒**

「世界的なデジタル化の中でも重要な貿易の領域において、ブロックチェーン技術を用いた革新的なプラットフォームである TradeWaltz を、業界横断各社の知見を結集して世に送り出したことを大変うれしく思います。引き続き本事業の国内外の展開を支えつつ、これを嚆矢（こうし）にデジタル時代の新しい社会インフラの整備に尽力してまいります。」

**三菱商事 取締役常務執行役員 CDO 村越 晃**

「三菱商事は日本の産業全体の生産性向上を目指し、デジタル化による産業構造の変革「産業 DX」を戦略として掲げています。TradeWaltz はデジタル技術を活用し、貿易業務の飛躍的な効率化、諸外国の貿易基盤との連携を目指すプラットフォームです。当社は、貿易実務を担う荷主の立場から、関係者の皆様と共に TradeWaltz の発展に寄与して参ります。」

**豊田通商 取締役副社長 柳瀬 英喜**

「コロナ禍により、世の中は紙などを用いたマニュアル業務からの脱却を求めています。特に貿易業界の業務においては、従来のやり方からデジタルテクノロジーを生かした貿易関連情報の電子化などのニューノーマルを構築する時がやってきたと思います。その世界の実現のため、当社も尽力する所存です。」

**東京海上日動 副社長執行役員 岡田 誠**

「貿易関係者間で売買譲渡される貨物保険証券を、ブロックチェーンによってデジタル化することは世界で初めての取り組みであり、TradeWaltz に参加される皆様と共に、貿易実務の新しいプラクティスを日本発で世界に提示していきたいと思えます。」

**三菱UFJ銀行 執行役員 決済ビジネス本部長 真鍋 宜剛**

「MUFG は TradeWaltz のプラットフォームを通じた安心・安全な貿易金融および貿易決済の電子化に取り組んでいくことにより、多数の地域と国にまたがるお客様の輸出入業務の拡大とプロセスの効率化およびスピード向上に貢献して参ります。」

**兼松 取締役専務執行役員 宮部 佳也**

「商社の生業である貿易業務のデジタル化は、業務効率化のみならず、そのデータを利活用した事業創造、事業連携の基盤にもなり得ます。創業以来 130 年間で培ってきた貿易ノウハウとブロックチェーンの先進技術を組み合わせ、お取引様にとって安心で夢のある貿易プラットフォームをご提供すべく、取り組んでまいります。」

**損保ジャパン 取締役常務執行役員 中村 茂樹**

「社会インフラとしての TradeWaltz を成長させることで、共同出資する企業をはじめ貿易に携わるすべての関係者の連携が強化され、貿易業務の一層の高度化が進むものと期待しております。損保ジャパンは、海上保険のお引き受けを通して長年培ったノウハウを最大限に活かし、本取り組みに貢献してまいります。」

**トレードワルツ 代表取締役社長 小島 裕久**

「共同事業化にご賛同いただいた企業の皆様と TradeWaltz 事業の開始をご報告いたします。貿易書類 100%電子化による事務の効率化、および貿易データの利活用による新たな価値提供に取り組めます。多くの利用者の皆様に向けて、安全・安心・円滑な貿易の実現を提供していく所存です。」

(注) Software as a Service の略で、ユーザーがインターネット経由に必要なソフトウェア機能を利用する仕組み

\*「TradeWaltz」は日本国内における株式会社 NTT データの登録商標です。

\*その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

以上